

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

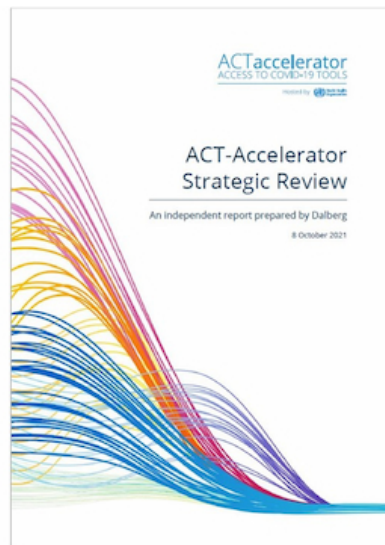
新型コロナとたたかう国際協働のいま

JCIE

ACT-Aの中間報告書まとまる 目標達成 に向けた改善策などを提案

2021.11.04

声明・報告書



ACTアクセラレーター（ACT-A）は、2020年4月の発足以来、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチンや検査、治療薬といった医療手段（ツール）の記録的な早さでの開発や供給を支えてきました。一方で、アクセスの不平等さは深刻で、より感染力の強い変異株の出現でその有効性が脅かされています。パンデミック（世界的流行）が続き、公正なアクセスがより一層求められる中、ACT-Aの果たす役割の強化を目指すとともに、枠組みの来年以降の延長を視野に入れた『戦略的な中間評価報告書』（[ACT-A Strategic Review Report](#)）がまとめられ、10月8日に発表されました。

92ページからなる報告書は、100人を超える関係者のインタビューなどを元に作成されました。報告書は、全体の評価として、ACT-Aによる調整や協力、優先順位化の取り組みが、COVID-19に対するツールの開発や供給、アクセスなどを早期に進めることができた

という点でほぼ意見が一致したとしています。また、ACT-AはCOVID-19パンデミックの「急性期」に対処することが本来の目的であることを考慮し、長期的な視点で将来のパンデミックに備えるための体制構築はACT-Aとは別の枠組みで議論すべきだとしたうえで、時限的に設けられたACT-Aは、少なくとも2022年末までは活動を続けることが望まれるとしています。

一方で、ACT-Aが掲げる目的の達成を妨げている現状を、外的な要因とACT-Aの理念や建付、役割などの内的要因に分けて分析し、多くの課題を指摘するとともに、改善策などを提案しています。

外的要因については、以下の点を挙げています。

- ・ 新型コロナウイルスの疫学的な動態、とりわけ新しい変異株の出現が、国際的な取り組みをより難しく、複雑にさせてきた
- ・ 多くの高所得国での地政学的な緊張や自国優先の対応が協調的な行動を妨げてきた。これらの国々の対応は、自国の短期的な利益にかなうものの、ACT-Aの影響を抑えることになり、完全に公平で効果的な対応を遅らせることにつながった
- ・ ワクチンなどの供給が限られる中、一部の国が二者契約で調達と備蓄を図ったため、世界全体での公平性が妨げられた

さらに報告書は、**ACT-A自身に帰する課題**について、①範囲と目的②運営モデル③資金④より広範なエコシステム、の4つの観点から分析し、改善点などを示しています。

範囲と目的をめぐる分析・提言では、ツールを現場に届けるために、物流において、より現場に近い「下流」部分の支援強化と、成果指標による裨益者への影響モニタリングが必要だと指摘しています。具体的には製品の調達と流通を喫緊の優先課題とすることを求めています。またACT-Aの部門ごとにも課題を具体的に示しています。例えば、検査部門では、検査キットが多数開発されているにもかかわらず、WHOの緊急使用リストに掲載されているのがわずか4つしかないことを指摘し、承認プロセスを加速するよう求めています。治療部門では、既存薬剤の転用に過度な期待をしすぎた、と指摘。またCOVAXのような仕組みがないため、今後、ワクチン同様、高所得国による買い占めが問題となる可能性に警鐘を鳴らしています。またACT-Aが提供できる製品や支援、財政的な選択肢について、各国にきちんと情報提供すべきだとしています。またこうした役割の担い手として、保健システム強化を担う「ヘルスシステムコネクター」部門を挙げ、国ごとの準備状況が異なる中で、こうした差を埋める支援にあたるべきだとしています。

運営モデルをめぐる分析・提言では、本来、ACT-A全体を見渡して意思決定をする機関である運営理事会が必ずしも十分に機能していない点を挙げ、権限や内部調整が時に不透明な、複雑なモデルになっていると指摘しています。また運営理事会の構成が高所得国に偏っている点や、コミュニティレベルでのニーズに合わせた、明確でアクセス可能で集約された情報とコミュニケーションが欠如している点などを指摘し、低・中所得国や市民社会、コミュニティ代表の参画を高めることや社会的に脆弱な人々にもっと目を向けることなどを強く求めています。

資金をめぐる分析・提言では、各部門の担い手機関・組織だけでなく、運営理事会が主導して、資金拠出のアドボカシーや需給ギャップの記録、資金集めなどを担うべきだと指摘しています。また世界銀行や地域開発金融機関に対し、その資金をACT-Aで活用できるよう、これまで以上に連携を図るように提言しています。

より広範なエコシステムをめぐる分析・提言については、ACT-Aとして、一貫したメッセージを発信し、対外的な認知を一層強化すべきだと指摘しています。

報告書は、これらの提案がACT-Aの短期・中期的な調整や最適化を目指すもので、速やかに実行に移されることを求めています。

シェアする

ツイート

一覧に戻る

NEWS

2022.10.21 ACT-Aの外部評価を公表 おおむね高評価の一方、今後の教訓も

2022.09.30 パンデミックの終息に向け、3つのギャップ克服を グテーレス国連事務総長

2022.09.29 最もリスクの高い人々のための検査と治療へのアクセスがカギ ACT-A分...

2022.09.28 ACT-Aの各分野、多くの国で目標からいまなお遠く

2022.07.11 G7サミット、COVID-19対策を議論 パンデミックに備える新たな金...

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま

JCIE JAPAN CENTER FOR
INTERNATIONAL EXCHANGE
日本国際交流センター

〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番12号 明産溜池ビル 7F

[TOP](#)

[NEWS](#)

[ACT-Aとは](#)

 [Twitter](#)

Tel.03-6277-7811 Fax.03-6277-6712

[Privacy Policy](#)

©Japan Center for International Exchange (JCIE)